

決算報告

平成17年度

西条市の一般会計、特別会計、企業会計

財政状況をお知らせします

市民の皆さまへ決算のごあいさつ



西条市長
伊藤宏太郎

平成17年度の西条市の決算がまとまりましたので、お知らせします。

一般会計の決算額は、歳入425億6570万円、歳出408億7427万円で、差し引き16億9143万円の剰余（余り）となっています。このうち翌年度へ繰り越した事業に充てるための財源1億165万円を除いた実質収支では、15億8978万円の黒字となっています。

各特別会計の決算状況やその概要は、別記（4ページ）

のとおりとなっています。

平成17年度は、国の「三位一体の改革」に伴う国庫補助負担金の減額など、非常に厳しい財政環境の中ではありましたが、合併後の市民サービスの平準化と市民の融和・一体感を醸成する施策や防災対策の強化、福祉の充実、子育て支援、都市基盤の整備、産業の振興など新しいまちづくりに向けた各種事業を実施することができました。

今後とも、効率的な行財政運営に心がけ、「市民力」の形成につながる「ひとつづくり」「しくみづくり」を推進するとともに、新市の均衡ある発展に向け積極的に取り組んでまいりますので、なお一層のご理解とご協力をお願いいたします。

予算・決算とは？

予算とは、1年間の収入（歳入）と支出（歳出）に関する見積りをまとめた「計画」のことです。決算とは、実際の収支をまとめた「実績」に当たります。

市の会計は3種類

一般会計

福祉や教育、道路整備など、市政運営の基本となる会計です。

特別会計

国民健康保険や介護保険など、一般会計と区分する必要がある特定事業の会計です。

企業会計

企業経営という観点から、独立して経理する会計です。

※本文中の金額は、1万円未満を四捨五入しています。
市民1人当たりの計算は、平成18年3月31日現在の人口（115,913人）を元としています。

平成17年度の主な事業



地域防災計画
策定事業



まちづくり基盤
整備事業



丹原高知線
道路改良事業



東予運動公園
整備事業